



しあわせおっぱい通信

2022年秋号 vol.46

岐阜県総合医療センター
新生児センター

当院では BHF を取得し、赤ちゃんに優しい病院として認定されています。今年度、認定の更新もされました。

新生児センターも今後、BFNICU 取得に向けて準備しています。



Happy Halloween

♡ NICUに入院中の「母乳育児」とは具体的にどうするの？ ♡

搾乳

ママは産科病棟で搾乳の方法を、助産師と一緒に行っていきます。自分で搾乳ができるように支援を行います。

直接授乳

修正34～35週頃か体重が1800g～2000g程度になると、次第に直接授乳が可能となります。GCUへ移動したら、ママも育児技術を磨きます。ママが退院したら、お家で搾った母乳をNICU、GCUへ届けていただきます。

授乳の練習

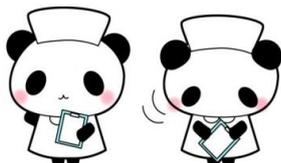
スタッフと一緒に赤ちゃんにあった直接授乳の練習を行います。何度も練習をしていくうちに赤ちゃんも授乳が上手になっていきます。



お家へ

直接授乳ができるようになったら、退院の時期が近くなってきます

母乳分泌が遅れているママには、ドナーミルクという方法もあります。ドナーミルクとは寄付された母乳を衛生的に処理したものです。小さく生まれた赤ちゃんは、身体の機能が未熟で様々なリスクを持っています。生後すぐから母乳栄養をとることでリスクを少なからず軽くしてあげることができます。



ママのおっぱいでお困りのことがあれば、助産師スタッフもいますので、お気軽にお声かけください♪